

雇児総発第0201010号
社援基発第0201001号
障企発第0201001号
老計発第0201001号
平成20年2月1日

各〔都道府県
指定都市
中核市〕民生主管部(局)長 殿

厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課長



厚生労働省社会・援護局福祉基盤課長



厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長



厚生労働省老健局計画課長



社会福祉施設等における中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる
健康被害事例の発生に係る注意喚起について

この度、別添の厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課作成の発表資料のとおり、中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例が発生しました。
社会福祉施設・介護保険施設(以下、「社会福祉施設等」という。)における衛生管理の徹底については、従来より「社会福祉施設等における衛生管理の徹底について」(平成15年12月12日社援基発第1212001号)により努めていただいているところですが、別添資料のとおり、当該食品については回収等の措置がとられているところであり、この度の事例を踏まえ、社会福祉施設等における食品の安全性の確保に万全の注意を払い、衛生管理の一層の徹底に努めていただくようお願いします。



平成 20 年 1 月 30 日
食品安全部監視安全課
道野 輸入食品安全対策室長
担当: 蟹江、内海 (内線 2477)

中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生について

1. 昨夜、東京都より、本年 1 月 5 日に兵庫県において 1 家族 3 名、1 月 22 日に千葉県において 1 家族 5 名の有機リン中毒^{*}の疑いがある事例が発生し、両事例において発症直前に、ジェイティフーズ株式会社（東京都品川区）が中国から輸入した冷凍ギョウザを摂食していたとの情報提供があり、輸入実績を調査したところ、当該冷凍ギョウザは同一時期に輸入された同一製造者のものであることが判明しました（千葉市において 1 事例が調査中）。
2. 現在、関係機関が調査を行っているところですが、包材及び嘔吐物中のギョウザから有機リン系殺虫剤のメタミドホスが検出されたとの報告を受けています。また、輸入者からの情報では、現時点では上記以外の中毒事例は確認されていません。
3. 本件を受けて、当該食品について関係機関及び関係事業者により、消費者への注意喚起、販売の中止、回収等の措置がとられているところですが、厚生労働省としては、念のため、
 - ① 本件についての各都道府県等への情報提供
 - ② 安全が確認されるまでの間、当該製造者の同一製品の販売を中止するよう、輸入実績のある輸入者に対して関係自治体を通じて要請
 - ③ 当該製造者からの同一製品の輸入の自粛を指導するよう検疫所に対して通知等の対応をとったところです。

※ 有機リン中毒：有機リンが神経系のアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、神経が異常に興奮状態となり、縮瞳、嘔吐、めまい等を起こし、重症の場合、徐脈、呼吸障害、昏睡となり、死亡にいたる。

<参考 1：本事例に係る製品の情報>

	兵庫県	千葉県
品名	冷凍食品 手包みひとくち餃子	冷凍食品 手作り餃子
内容量	20 個入り (260g)	40 個入り (560g)
原産国	中国	中国
賞味期限	2009. 1. 1	2008. 10. 20 (製造 2007. 10. 20)
輸入者	ジェイティフーズ株式会社 (東京都品川区大井 1 丁目 28-1)	
製造者	HEBEI FOODSTUFFS IMP. & EXP. GROUP TIANYANG FOOD PROCESSING	
輸入届出日(届出重量)	2007. 11. 7 (13, 360kg)	2007. 11. 6 (13, 144kg)

<参考 2：当該製造者の同一製品の輸入実績>

品名	届出件数	届出重量(kg)
加熱後摂取冷凍食品 ギョウザ	155	1, 230, 739

(平成 19 年 1 月 1 日～平成 20 年 1 月 28 日：速報値)

平成 20 年 1 月 30 日
食安全全部監視安全課
道野 輸入食品安全対策室長
担当: 蟹江、内海 (内線 2477)

中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生について (第 2 報)

1. 標記については、次のとおり本日付けでお知らせしたところです。
(<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/01/h0130-1.html>)
2. 今般、本件の原因として疑われる冷凍ギョウザの製造者 (河北省食品輸出入集団天洋食品工場) の同一製品を輸入していた輸入者が新たに 2 社確認されたことから、
 - ① 本件についての各都道府県等への情報提供
 - ② 安全が確認されるまでの間、当該製造者の同一製品の販売を中止するよう、当該輸入者に対して関係自治体を通じて要請を行いましたのでお知らせします。

<参考：当該製造者の同一製品の輸入実績>

輸入者名 (住所)	届出件数	届出重量(kg)
日協食品株式会社 (東京都中央区日本橋室町 1-9-12)	7	43,524
株式会社ワントレーディング (大阪府中央区島之内 1-14-29)	5	33,341

(平成 19 年 1 月 1 日～平成 20 年 1 月 28 日：速報値)

平成 20 年 1 月 31 日

食品安全部監視安全課

道野 輸入食品安全対策室長

担当: 蟹江、内海 (内線 2477)

中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生について (第 3 報)

標記について、以下のとおり対応したのでお知らせします。

なお、下記 1 に関する具体的な製品の情報については、厚生労働省ホームページに順次掲載することとしていますので、これらの食品を摂取しないよう国民への注意喚起について、引き続きご協力をお願いします。

1. 本件の原因として疑われる冷凍ギョウザの製造者 (河北省食品輸出入集団天洋食品工場) のすべての製品 (別添) について、念のため、安全性が確認されるまでの間、販売を中止するよう、関係事業者等に対して関係自治体を通じて要請を行いました。
2. 同様に、当該製造者からのすべての製品の輸入の自粛を輸入者に対して指導するよう、検疫所に対して通知しました。

第 1 報 : <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/01/h0130-1.html>

第 2 報 : <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/01/h0130-3.html>

平成 20 年 1 月 31 日
食安全部監視安全課
道野 輸入食品安全対策室長
担当: 蟹江、内海 (内線 2477)

中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例の発生について (第 4 報)

標記について、本で行われた関係閣僚会議を踏まえ、以下のとおり対応したのでお知らせします。

1. 本件に係る相談対応のために、明日 (2 月 1 日) より電話回線を増設します。
代表番号 03-5253-1111 (内線4291・4292・4293) 9:00~18:15
休日連絡先 03-3595-2337 9:00~18:15
2. 都道府県等に係る相談窓口の連絡先を、別添 1 のとおり厚生労働省ホームページに掲載しました。
3. 本件に係る Q & A を作成し、別添 2 のとおり厚生労働省ホームページに掲載しました。
4. 社団法人日本医師会に対し、食品による有機リン中毒の疑いのある患者を診断等した場合の速やかな保健所への通報について、協力依頼を行いました。
5. 以下の製品について、別添 3 のとおり製品画像を追加しました。
輸入者 : (株) 神戸物産
製品名 : 牛丼、豚お好み焼、豚丼、焼肉丼、カツ丼セット、酢豚セット、ミニロールキャベツ、豚肉の3色野菜巻き

第 1 報 : <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/01/h0130-1.html>

第 2 報 : <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/01/h0130-3.html>

第 3 報 : <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/01/h0131-2.html>